

次期安全プラン案

現実的数値で目標設定

トラック 軽貨物と分類

国土交通省は1月28日の有識者検討委員会で、次期事業用自動車総合安全プラン案を提示した。焦点だった目標値の設定は「現実的で着実に取り組める目標が必要」（国交省）と判断し、現在の安全プランで未達が見込まれる項目は数値を据え置く。策定後は各対策を柔軟に見直すため、必要に応じて計画の具体策の追加や修正を行い、目標の達成に取り組む。

（小林 孝博）

次期プランの期間は2026年4月～31年3月までの5年間。国交省は今後、計画内容を議論してきた自動車運送事業安全対策検討会で最終案を作成。その後、親会議の総合的安全対策検討会の確認を経て、次期プランを正式決定する。パブリックコメント（意見公募）も行う。

次期安全プランの数値目標（案） ～トラックの場合～

①24時間死者数（190人以下）	
トラック（軽以外）	175人以下
軽貨物	15人以下
②重傷者数（1120人以下）	
トラック（軽以外）	820人以下
軽貨物	300人以下
③人身事故件数（9100件以下）	
トラック（軽以外）	5800件以下
軽貨物	3300件以下
④飲酒事故（ゼロ件）	
⑤業界目標（追突・3350件以下）	
トラック（軽以外）	2380件以下
軽貨物	970件以下

（注）カッコ内は全体目標

また次期プランは、トラックが5800件以下、

業界独自数値
も2種類分け

トラックは175人以下、軽貨物は15人以下とする。人身事故件数（9100件以下）は、トラックが5800件以下、

策定後の進め
方も見直しへ

次期プランでは策定後の進め方も見直し、必要に応じて計画の具体策の追加・修正も行うべく方針。新たな取り組みでは、外部要因による事故件数の変動影響や施策効果を適切に評価するため、総走行距離当たりの

年間の総走行距離当たりの最低値を目安に新目標を設定し、事業用全体で1740人以下とする。飲酒運転による事故は従来通りゼロ件とする。

トラックの目標値を一般の「トラック」と「軽貨物」を分けて設定する。例えば、トラック業界全体で190人以下に抑える死者数の目標のうち、

軽貨物に目標を設定するのは初。インターネット通販の普及に伴う軽貨物の需要増に合わせ、事故の増加が課題となる中、実態を把握し対策を講じる。

軽貨物が3300件以下となる見込みだ。追突事故の削減を掲げたトラック独自の目標もそれぞれ数値を設定し、トラックは2380件以下、軽貨物は970件以下とする。安全プランで軽貨物に目標を設定するのは初。インターネット

事故件数を使い、実態に即した分析を行う。事故原因となり得る人手不足の対応では、健康起因事故対策の強化、業務経験講習受講と選任を着実に進めるとともに、事故の少ないドライバーや外国人ドライバーの安全対策も徹底する。運行管理

の高度化も推進していく。軽貨物では、企業や個人事業主に安全管理者の講習受講と選任を着実に進めるとともに、事故の少ないドライバーや外国人ドライバーの安全対策も徹底する。運行管理

に基づく対策を講じる。軽貨物運送に業務を委託する大手通販、元請けなどを集めた適正化協議会の委員との連携も進め

安全プランは09年に初期中の着実な達成を目指す。動車の事故削減につなげてきたが、数値目標の達成に苦戦してきた経緯がある。国交省は次期プランの目標にこれまでの実績を引き継ぐことで、期間中の着実な達成を目指す。

媒体名	輸送経済
掲載日	2026.2.3
掲載面	1面

総合安全対策検討委

次期プラン目標案提示

軽と分離、追突事故削減

国土交通省は1月28日に開催した、事業用自動車に係る総合的安全対策検討委員会で、次期事業用自動車総合安全プラン（2026～30年）の目標案を示した。目標値の設定では、現行のプラン2025（21年）の値が未達の項目は、プラン25の目標値を継続する。達成した項目は、総走行距離あたり（軽除く）は追突事故件数、軽貨物も事故類型別で発生要因の多い追突事故とした。

次期事業用自動車総合安全プラン（2026～30年）

全体目標案		
24時間死者数	目標値	目標指数
事業用自動車全体	225人以下	0.31人/億km以下
トラック（軽以外）	175人以下	0.30人/億km以下
軽貨物	15人以下	0.26人/億km以下
重傷者数	目標値	目標指数
事業用自動車全体	1,740人以下	2.39人/億km以下
トラック（軽以外）	820人以下	1.42人/億km以下
軽貨物	300人以下	5.11人/億km以下
人身事故件数	目標値	目標指数
事業用自動車全体	16,500件以下	22.68件/億km以下
トラック（軽以外）	5,800件以下	10.04件/億km以下
軽貨物	3,300件以下	56.20件/億km以下
飲酒運転事故	目標値	目標指数
	ゼロ	

個別目標案		
追突事故件数	目標値	目標指数
トラック（軽以外）	2,380件以下	4.12件/億km以下
軽貨物	970件以下	16.52件/億km以下

した。目標項目は、24時間死者数、重傷者数、人身事故件数、飲酒運転事故件数を継続する。トラックは、「トラック（軽除く）」と「軽貨物」に分けて目標を立てる。各業態の個別目標は、プラン25の目標を達成していないことから、現行値を継続する。トラック（軽除く）は追突事故件数、軽貨物も事故類型別で発生要因の多い追突事故とした。目標案は表の通り。新たに総走行距離あたりの目標指数を示し、フォローアップ時に活用しながら、目標値そのものは、事業者・運転者への分かりやすさから引き続き件数で示す。目標項目のうち、プラン25で達成した重傷者数は、過去5年の総走行距離あたりの最低年を目安に設定。それ以外はプラン25の目標を継続する。毎年、目標値の達成状況等のフォローアップを行うとともに、必要に応じて計画の具体策の追加、修正等を随時行う。目標案を含め次期プラン案全体について、委員からはおおむね承認を得た。パブリックコメントを行い、3月23日に開催予定の次回会合で正式に決める。